

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587023301	科目番号 / Subject code	05870233
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 13951_005		
授業科目名 / Subject	環境マネジメント (廃棄物のマネジメント) / Management of Solid Waste		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 山下 敬彦 / Yamashita Takahiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	juniper nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	産学官連携戦略本部 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2227		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで問い合わせ		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに、居住地域としての長崎地域のごみの分別方法を 確認し、他地域のごみの分別方法と比較することにより、廃棄物処理の現状認識を行う。また、実 際に廃棄物の分別を体験し、廃棄物のマネージメントに関する知識と理解を深める。		
授業到達目標/Goal	日本の廃棄物処理のデータ分析と、学内の「ごみ」の実態調査・分析から、長崎地域と社会に必要な 廃棄物のマネージメントについて考察する力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	長崎地域を含めた居住地域のごみの分別方法の調査、日本の廃棄物処理データの分析、学内におけ る「ごみ」の実態調査、分析から現状の問題点を抽出し、解決方法を提案する。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画にある通り。座学は最初の2コマのみで、以降は、居住地のごみの分別方法、日本の廃棄物 処理に関する統計データ、さらに大学内のごみ分別状況を調査・分析する。そこから、それぞれが 抱える課題を抽出し、その解決のための手法を議論する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	シラバスの内容に沿った事前学習、および、各調査・分析毎に簡単なレポートを作成し提出する事 後学習があります。		
キーワード/Key word	廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法 長崎県		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。資料は適宜提示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の授業への積極的な参加30%, レポート70%で評価し, 60%以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと。 グループ活動を中心とした実態調査、データ分析、課題抽出が主体となるので、欠席の影響は、次 の講義、さらには個人だけではなくグループにも及ぶことを念頭に置いておいてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ごみの話、関連する法制度についての概要説明		
第2回	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)の概要説明		
第3回	居住地域のごみ分別方法について調査する		
第4回	居住地域のごみ分別方法の調査結果を分析する		
第5回	居住地域のごみ分別方法と他地域のごみ分別方法と比較検討し、「ごみを分別すること」について 考察する		
第6回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する ???		
第7回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する ???		

第8回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を分析する
第9回	日本の廃棄物処理の現状評価から問題点を抽出する
第10回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う？
第11回	長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する
第12回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う？
第13回	長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行い、現状を評価する
第14回	長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する
第15回	「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討し、提案する

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/06/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587050901	科目番号 / Subject code	05870509
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境マネジメント (有害化学物質のマネジメント) / Management of Harmful Chemicals		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	久保 隆 / Kubo Takashi, 山下 敬彦 / Yamashita Takahiko, 真木 俊英 / Maki Toshihide		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	久保 隆 / Kubo Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubo-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟9階906室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2246		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	有害化学物質のマネジメントについて理解するとともに、長崎大学における廃液処理の実際を見学し、長崎大学コミュニティの一員としてとるべき行動について理解を深める。		
授業到達目標/Goal	有害化学物質による汚染事例について自ら学び(??)、議論や発表を通じて理解を深める(??)。また、有害化学物質の管理制度について学ぶとともに(??)、本学における廃液処理管理等に関して学生相互に意見を出し合い、課題を発見・解析できるようになる(??)。		
授業方法 (学習指導法) /Method	討論及び講義		
授業内容/Class outline/Con	別ページに、各回の授業内容を列挙している。ただし、理解状況等によって、内容や順序を変更する 場合がある。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	リスク、化学物質管理制度、実験廃液管理、公害、課題解決		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。教材はPDFファイル等で提供する。参考書:「化学物質リスク管理用語辞典」 化学工業日報社、「基礎化学実験安全オリエンテーション」東京化学同人		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義への積極的取り組み30%, 試験20%, レポート50%で評価し, 60%以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	予習と復習を前提とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	定期的にニュースをチェックすることや、幅広い内容について読書することも、この講義の理解を深めるために有用です。前向きな取り組みを期待します!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス: 科目の概要、狙い、位置づけ、到達目標、授業の方法、各単元の到達目標、評価方法を理解する。 課題探求と課題解決の方法について理解する。		
第2回	?実験時の安全: 実験に用いる薬品や器具等の基本的な取扱方法、具体的な安全対策について理解する。		
第3回	?安全・安心とリスク(その1): 安全・安心の考え方、およびエラーとその対策概念の基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。		
第4回	?安全・安心とリスク(その2): 化学物質の取り扱いに関するリスクアセスメントの基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。		
第5回	?毒性試験と毒性値: 毒性試験や毒性値の種類を学び、それらの意味を理解する。 GHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)やラベル表示の概要を理解する。		

第6回	?基準値等の設定： 化学物質の毒性に基づいた基準値や指針値設定の考え方を理解する。
第7回	?特定化学物質の取り扱い： 特化則（特定化学物質障害予防規則）の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第8回	?有機溶剤の取り扱い： 有機則（有機溶剤中毒予防規則）の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第9回	?廃液処理システム： 本学の有機系及び無機系実験廃液処理施設の概要を学ぶ。また、本学の実験廃液管理システムについて理解する。
第10回	?重金属廃液の処理効果の確認と施設見学： 簡単な実験を通して、廃液の分別の重要性を理解する。また、実施設の見学を通して、廃液処理を体験的に理解する。
第11回	?廃液に関する課題解決（その1）： 本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。
第12回	?廃液に関する課題解決（その2）： 本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。
第13回	?公害に関する課題解決（その1）： 公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。
第14回	?公害に関する課題解決（その2）： 公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。
第15回	テスト・レポート： テストによる知識の定着の確認を行う。また、公害について世界に発信すべき教訓を考え、まとめる。
第16回	総括： 講義の評価を行い、改善点等について議論する。